

## No.2542-A 半自動シートマシン

本機は手抄きシートを作成する装置で、給水 - 攪拌 - 濾水を予め設定した水位、タイマー、圧力に従って、各工程が自動で進みます。給水は任意に設定した水位に到達すると停止し、エアー攪拌を開始します。設定の時間で攪拌を終了し、水面が安定した後濾水します。給水 - 攪拌 - 濾水の作業が自動操作で行われるため、迅速に作業を進めることができます。

手持ちの攪拌器による作業は繰り返し試料作成すると、作業者への負担も大変大きくなります。この装置ではエアーにより攪拌を行い、作業者の負担を軽減します。また、攪拌器による作業は個人差が出る事が多く、特に紙力強度に大きく影響を与えます。これをエアー攪拌により自動化することで試料作成の品質精度を向上させることができます。

エアー攪拌はタイマーにより一定時間が経過して停止します。その後水面の安定を待って濾水を開始します。

クーチングは空気圧によりダイアフラムを膨らませて試料の圧搾脱水を行います。濾水筒を開けて濾紙を試料に載せ圧搾板を閉めると自動的にクーチングを開始します。調整された圧力で試料が圧搾され、一定時間後、圧力が開放されます。圧搾板を開けて試料を取り出します。

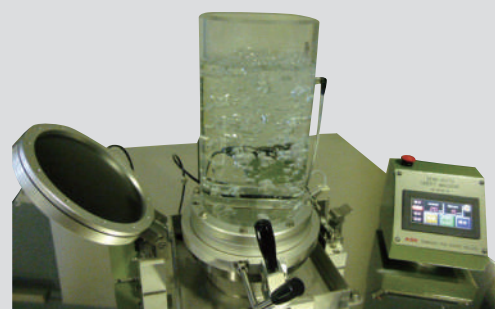
コントロールパネルは視認性と操作性の良いタッチスクリーンになります。画面にはクーチング時間、攪拌時間が表示されます。画面左には進行中の各工程が表示されます。手動による単独操作も可能です。

抄紙寸法	標準型	φ158mm (標準型)
	大型丸型	φ200mm (丸型 200)
	角型	250mm角 (角型)
攪拌方式	エアー攪拌式	圧力 約0.1MPa～0.4MPa
クーチング	ダイアフラム式	圧力 0.1MPa
オプション	白水回収仕様、強制吸引仕様を追加できます	
電源	100/110V	50/60Hz
エアー源	0.5MPa	
外形寸法	900×600×1500mm (標準丸型)	
重量	135kg (標準丸型)	

## No.2542-B 空気圧式標準型シートマシン

従来の手抄紙調製は、パルプ懸濁液の攪拌と湿紙マットのクーチングに、かなりの労力を消費していました。弊社は抄紙操作の本質を変えないで、作業性のよい空気圧式標準型シートマシンを製作しています。その改良点は、懸濁液の攪拌と湿紙のクーチングに空気圧を利用します。下面にゴムダイアフラムを張ったクーチング盤を濾紙とともにウェットマットにのせ、空気圧で加圧することによりクーチングを行います。また円環状のエアスターラーはその銅パイプよりエアーが噴出しパルプ懸濁液をかき混ぜます。

抄紙装置	主要寸法	No.2545 と同一
攪拌方式	アジテータ外形寸法	直径 120mm 空気圧 0.05MPa
クーチング装置	ダイアフラム有効径	191mm 空気圧 0.05MPa
エアー源	0.5MPa	
外形寸法	1100×750×1550mm	
重量	127kg	



エアー攪拌

